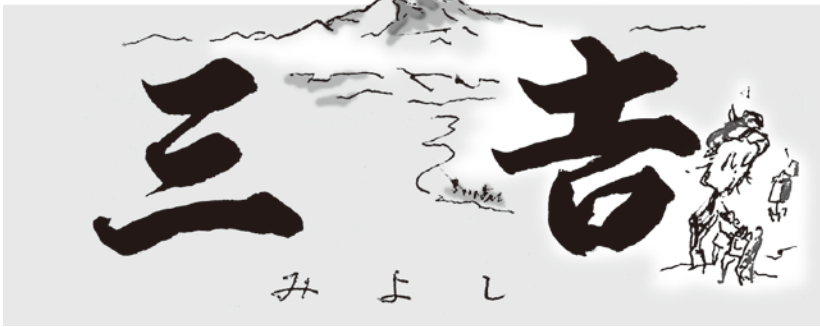




発行所

太平山頂上鎮座

太平山三吉神社総本宮

宮司 田村 泰教

秋田市広面字赤沼3の2

電話 (018) 834-3443

FAX (018) 834-3444

<http://www.miyoshi.or.jp>



太平山頂上 空輸作業 (6月6日)

四十歳を越えて尚、第一線で活躍するイチロー選手。十分な備えをして試合に臨むために、練習内容から食事等に至るまでの細かな決まりごとを長く実践しているという。類まれなセンスに加えて、凡人では到底真似のできない地道な努力の積重ね。彼が天才と言われる所以だ。▽能や歌舞伎、茶道に花道・剣道…。こまごまとした所作や決まりごと、いわゆる【型】を重んずる文化が日本には根付いている。神社のお参りも、姿勢や作法がきれいなほど真摯に映る。心が形となつて表れ、型も精神に大きく影響する。心と体は表裏一体であり、行動や習慣も生活に結びついた一つの型と言えよう。▽学ぶと真似るは同じ語源と言われる。最初は単なる猿真似であつても、形が身に付けば、自ずと中身も付いてくる。新年度がスタートして二カ月余り。環境がかわり自分の個性が発揮できないと戸惑っている方も多いことだろう。しかし全ては基本から。単なる型破りの人間にならないように、焦らず粘り強く土台作りに励んで欲しい。多くの先輩達がそうしてきたように。

宮司 田村 泰教

地元シリーズ ⑤0

第42回 敬神旅行に参加して

(五月二十四日)

講社副会長 大井 光 弘



去る5月 岳八幡神社に向かいました。

24日、森岳 途中、以外と車の流れが良く八幡神社で 順調に進み過ぎて、このままで正式参拝す は予定時間より早めに到着する敬神旅行に講社の方々、うち 心配が出たため、神社の少し手 半数は女性でしたが一緒に 前の「惣三郎沼公園」で急ぎよ てきました。

わずか一日の日帰りの旅でし たハプニングがありましたが無 事！に予定通りに、森岳八幡神社 にも楽しい旅行でしたので紙 に到着いたしました。

面をお借りして、この機会にそ 神社では、宮司さんや地元講 の状況について報告をさせて頂 社の役員、数名の出迎えを受け きます。

出発にあたり、まず一行は無 で再び宮司さんのご家族の歓待 事を祈願して、太平山三吉神社 とお茶の接待を受け、宮司さん の社殿で参加者全員が、正式参 からは、森岳八幡神社の由緒と 拝した後、バスに乗り九時恰度 「無形文化財」の「森岳歌舞伎」 に神社を後にして、まっすぐ森 のお話を聞き、一休みした後、

社殿に向き参加者全員で正式 参拝をさせて頂きました。

その後、神殿をバックに記念 写真を撮ってもらい、引き続き 宮司さんのご案内で境内の「農 村歌舞伎会館」を見学し、数々 の衣装や舞台を拝見しながら、 現在も毎年、八幡神社例祭の夜 に奉納公演が行われていると聞 き、その姿を想像しながら、小 さな舞台ながら手入れの行き届 いたステージを、何度も見て廻 りました。

境内にはその他、いろいろな 神社が点在し神門には大神輿や 神馬が保存されており、それら をゆつくり拝観させて頂き、次 のコース、森岳温泉ホテルへ向 きました。

同ホテルでは時間を充分に 取ってあり入浴後、森岳八幡神 社の宮司さんや地元講社の方々 と二時間余り、お酒を酌みかわ しながら交流を深めました。

この後、干拓前の八郎潟から 現在までの大潟村の歴史や文化 を伝える「大潟村干拓博物館」 と「生態系公園」を見学し、あ

の八郎潟が北海道の大地のごと く延々と続く道路や田畑、そし て点在する住宅の数々に目をみ はりながら、人間の力とは本当 に偉大なものであるとつくづく 思いしらされると同時に、子ど も達が、この現状を引き継ぎ未 来に向かって、大きくはばたく ことを願いつつ、大潟村を後に した午後四時三〇分頃、参加者全 員無事に太平山三吉神社に到着 し皆さん、それぞれお元気で帰 路につきました。

終わりに、大変お世話になつ た、森岳八幡神社の皆様と太平 山三吉神社の関係者に心から感 謝を申し上げ、ペンを置きます。 誠に有難うございました。

言挙げ ⑤4

登拝の時期を迎えて

権柄宜 原 田 憲 幸



本年も山開きの時期がやって参りました。今年の十分には備えたつもりでいても、

冬はとも雪の少ない年であったが、五月の視察の段階ではほとんど残雪が無かった様です。長く北国で暮らしていると、大雪の中での生活は不便が多く、今年は過ごし易かったと考えてしまいましたが、雪に関わる仕事や、春の雪解け水の恩恵を受けている方々にとっては、必ずしも良かったとは言い難かったと思われれます。自然の力の前ではなかなか人の思った通りには行かないものだ、改めて考えさせられる機会でもありました。

太平洋山頂での参籠期間は、長ければ合計日数は三十日前後にもなります。そうなると勿論、

を実感致します。

山では限られた環境であるが、何かと不便が多いわけですが、その非日常さも好まれていくのでしょうか、近年若い方々の姿も見られるようになりました。多くは市内の方々なのですが、中には遠方から連休を利用して北海道や東北の山々を毎日登って来られる方も少なくありません。山は危険も伴いますが、それ以上の魅力を感じているかなのだと思います。テレビや写真ではよく見かける景色も自分の足で登り、自分の目で直接見るとやはり感動も格別なものであります。

また、登山は良い運動にもなります。登山で使う筋肉は普段あまり使用しない部分が多いので最初の内は大変かもしれないが、深緑の中で流す汗はさわやかで開放感があり、体だけでなく心もすっきりとします。中には走りながら登って来る健脚な方もおりました。軽装とはいえず、急な登りばかりの山道を駆け

けて来る強靱な足腰と体力には驚かされます。それほどとはいかずとも、日頃から体を動かして、なるべく体力を維持出来る様に心掛けたいものです。

とは言え、山登りは体力が全てと言うわけでは御座いません。ベテランの方の話によれば、歩幅や呼吸法、適切なタイミングでの休憩のとり方で、疲労感随分と違って来るとの事です。一人では自信の無い方は、ベテランの引率者の登山会に参加してみるのも良いかもしれません。

当社でも一泊二日で「登ろう会」・「山ガール登山」といった行事を主催しております。よろしければ是非参加してみてください。秋田市内の方でも、山頂からの夜景や星空をご覧になられた事の無い方も意外と多いと聞き及んでいます。都合良い機会に一度宿泊なさってみては如何でしょうか。天気にも恵まれれば御来光を見る事も出来ます。皆様の御登拝を御待ち致しております。

第56回 第57回

『太平山に登ろう会』のご案内

太平山頂上奥宮に参拝し、山小屋に1泊いたします。夕陽や星空、ご来光を見る絶好のチャンスです。

山岳会員が同行案内しますので、初心者の方、おひとりでのご参加でも安心です。是非奮ってご参加下さい。

記

- ・期 日 第54回：7月25日(土)～26日(日) (1泊2日)
第55回：9月5日(土)～6日(日) (〃)
- ・集 合 午前11時 里宮
- ・参加費 9,500円 (宿泊・交通費・保険料・初穂料・食事代・記念写真代等一切を含みます)
- ・申込み 10日前までに係(第56回：上村、第57回：今野)までお申込下さい。(定員各20名)
- ・登山路 旭又(仁別)コース往復(時間はあくまでも目安)



1日目

里宮 集合 安全祈願後出発→旭又園地→御滝神社→御手洗(みたらし・冷たい湧水・ブナ林)→太平山山頂祈願祭の後夕食直会【山頂山小屋泊】

2日目

(朝拝行事・朝食)→御手洗→御滝神社→旭又→仁別森林博物館見学→里宮(昼食後解散)

第5回 『山ガール登山』のご案内

初心者
大歓迎

今年で第5回目となる女性限定の登山会。秋田市のシンボル霊峰太平山に登り、山頂で1泊します。登山未経験の方、初心者の方大歓迎です(山岳ガイド同行)。

毎年恒例の懇親会では、お酒を飲みながら女性同士で大いに盛りあがります。是非この機会にお誘い合わせの上、ご参加下さい。

【期 日】平成27年7月18日(土)～19日(日)(1泊2日)

【集 合】9:00 里宮

【対 象】健康な方(20代～40代の女性限定)で、体力がある方

【参加費】6,000円(宿泊・食事代、初穂料、保険料、写真代等含む)

※山道の運転に自信のない方は、神社の車にて登山口へ向かいます。

【申込み】電話・FAX・メール等。7月13日締切り(定員20名)。担当：和田



1日目

途中御手洗にて昼食・休憩→山頂着15:15頃

2日目

ザ・ブーン着11:45頃(お風呂・昼食後解散)

※ご不明な点(荷物・服装など)に関しましては、担当和田迄ご連絡ください。

平成27年 太平山 山開きのご案内

去る6月6日、快晴のもと、無事本年の物資空輸作業を行いました。

霊峰《太平山》は、本年も10月初めまで奥宮・山小屋を開所し、神職関係者が常駐いたします。

近年は、県外の登山者や山ガールを始めとする若い方々の登山者が目立つようになりました。ご地元の皆さま、また崇敬者各位ご登拝を、心よりお待ちしております。



奥宮と山小屋

《太平山》（標高1,170m）

古くより薬師の峰・修験の山として崇敬を受けるとともに、豊かな自然の恵みをもたらす山として親しまれてきました。

頂上には奥宮社殿と山小屋がございます。

山頂からは男鹿半島の夕陽や360度のパノラマ、また満天の星空やご来光をお楽しみ頂けます。

《奥 宮》 平成22年竣工。頂上に位置する神社としては全国有数の大きさです。

《山小屋》 不慮の火災焼失を受け平成21年再建。30名宿泊可能。（要予約）

※ご不便をお掛けしておりました山頂のトイレは、新しいパイオ形式となり使用できます。

《本年の主な登山会の予定》

- ・ 奥宮・山小屋開所 6月6日（土）～10月2日（木）
- ・ 関係市町村合同登山 6月14日（日）
- ・ 太平山山開き（開山祭） 7月17日（金）御神体を山頂へお遷しします
- ・ 第5回山ガール登山 7月18日（土）～19日（日）（1泊2日）
- ・ 小松由佳さんと太平山チャレンジ（ザブーン主催） 7月20日（月）海の日
- ・ 神社主催太平山登ろう会 ① 7月25日（土）～26日（日）
（1泊2日） ② 9月 5日（土）～ 6日（日）
- ・ 閉山祭 9月17日（木）御神体を里宮へ遷御

※各種登山会の詳細等は、お気軽に神社にお尋ね下さい

○丸舞（岩見三内）コースは橋が崩壊、軽井沢（国民の森）コースは草が覆っています。

～土砂崩れと落雷被害～

5月18日、協力会会員助勢のもと、山頂の準備作業を実施しました。

山小屋の裏側に亀裂に伴う土砂崩れ、また奥宮・山小屋に落雷被害が確認されました。



山小屋裏の亀裂



夏越の大祓式のご案内

○日時 六月三十日(火) 午後三時(里宮)

この半年の間に知らず知らずの内に自分の身に積もった罪穢れや災いを、形代(かたしろ)や切麻(きりぬさ)、また茅の輪で祓い清め、夏の邪気を祓い、残る半年を心身ともに清々しく過ごすことをお祈りいたします。

是非、ご家族皆さまお揃いでご参列くださいませ。

《形代でのお祓いのしかた》

- 一、形代にそれぞれご家族の氏名・生年月日をお書き下さい。
- 二、形代で全身を撫でて祓い清めます。特に病氣やケガなどで具合の悪い所を入念にお祓い下さい。
- 三、次に形代を両手で持ち、思いをこめて大きく三度息を吹きかけて下さい。

●形代は神社にご用意しております。必要数をご連絡下さい。

●以上を行った後、ご家族の分をまとめて当日ご持参下さい。

尚、ご都合のつかない方は、随時ご持参又はご郵送下されば神事ご奉仕の上、ご神符をお送り致します。

茅の輪神事

水無月の

六月三十日(火)

なごしの祓する人は

午後三時肅行

千歳の命延ぶといふなり



第30回

太平山写生会

秋田のシンボル太平山をかこう!!

平成27年 7 月4日(土)

午前 9:00

太平山三吉神社社務所集合



日時 平成27年 7 月 4 日(土)
午前 9 時～ (終了次第解散)
【雨天時 7 月 5 日(日)に順延】

集合場所 太平山三吉神社 社務所
参加申込 当日集合場所で受付けます。

参加対象 幼児、小・中学生、ご父兄

写生場所 太平山三吉神社 境内

写生対象 太平山・神社建物、景色など

様式 水彩・クレヨン・パステルなど自由

持ち物 画版・昼食
(画用紙・飲物は準備しております。)

優秀作品 優 秀 賞 (約30点)、に選ばれた方には、8 月22日(土)表彰式にて、賞状・賞品を差し上げます。

主 催 太平山写生会実行委員会
協 賛 秋田中央郵便局 秋田魁新報社
NTT東日本秋田支店 秋田銀行広面支店
北都銀行広面支店 秋田信用金庫広面支店
(株)マルシン (株)ぺんてる (株)花のヤマト
イチノセキ時計店 秋田県信用組合東支店
(有)木曾塗装

その他 参加者には記念品を差し上げます。
問 合 せ (834) 3443 係：和田まで

● みよしスケッチ ●



天候に恵まれ多くの参列を
いただきました。

春季例大祭 (五月七日・八日)



森岳八幡神社様に参拝いた
しました。

講社旅行 (五月十四日)



札幌三吉神社例祭参列 (五月十五日)



境内整備作業 (五月二日)



本年度の活動について打合
わせを行いました。

神社協力会総会 (四月二十五日)



神武館後援会総会 (四月十七日)

平成
27年

開

山

祭

恒例により平成二十七年開山祭を左記により斎行いたします。多数の方にご参列賜われますようご案内申し上げます。

記

日時

七月十七日(金)

午前10時

於

里宮拝殿

この祭儀は古式に則り、里宮での神事後、神人奉仕の方々により御神体を太平山山頂に御遷御申し上げます。(往路・野田口、後路・旭又口)
○ご参列の方は、七月十日までに係 和田までご連絡下さい。

○神人奉仕・斉館宿 泊希望の方、神人と同行せず別途登拝予定の方は、必ずご連絡願います。
○神人奉仕者は斎戒沐浴を厳守下さい。



平成27年 下半期主な神事予定 (山関係は5頁参照)

10月1日(木)	午前10時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事(人形は9月20日よりお預かり致します)
10月16日(金)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	一年の恵みとご加護に感謝する秋の例大祭 県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月17日(土)	午前11時	秋季例大祭当日祭	
10月25日(日)	午前8時30分	歩こう会	近隣の社寺・史跡を歩いてまわります。
11月23日(月)	午前10時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭典
12月13日(日)	午前10時	煤払い式	境内建物のすすを払い、新年を清々しく迎えるための恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札、お守りをお祓いいたします
12月31日(木)	午後2時	師走の大祓式	一年の罪、穢れを祓い清め、心新たに新年を迎えるための恒例神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。

※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



秋季例大祭



歩こう会



師走の大祓